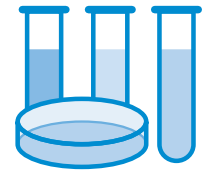


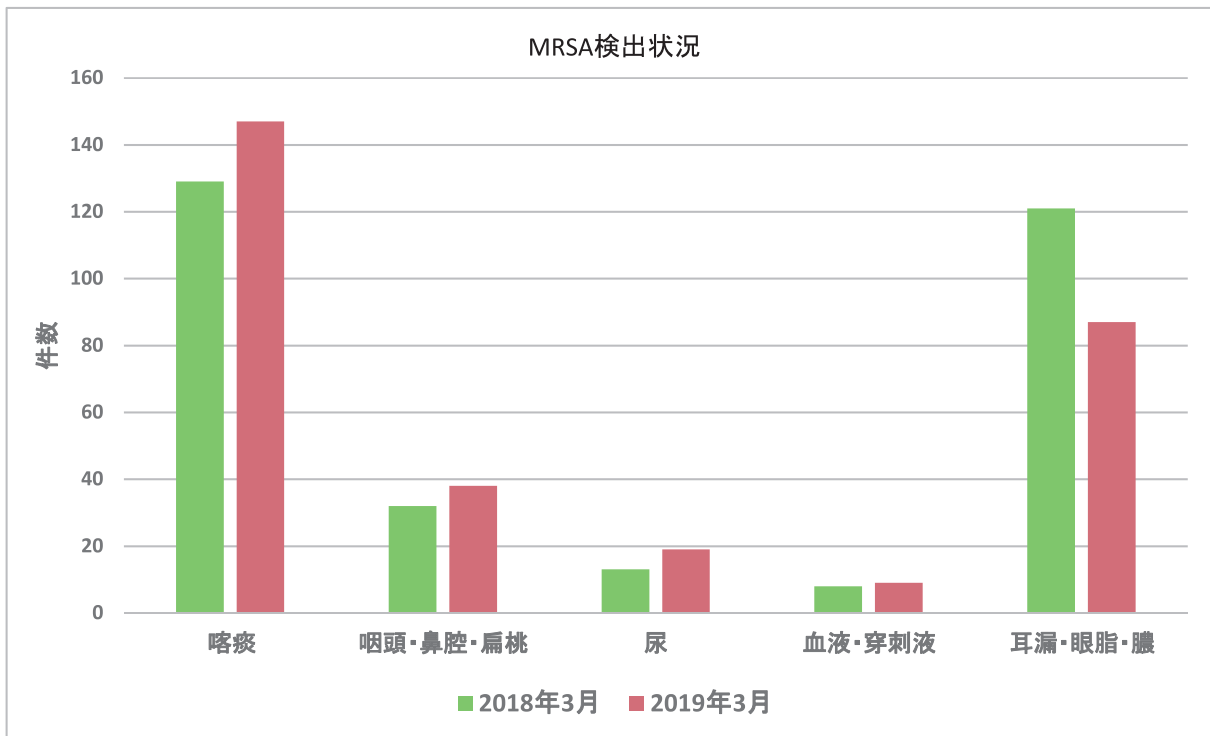
細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)



当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

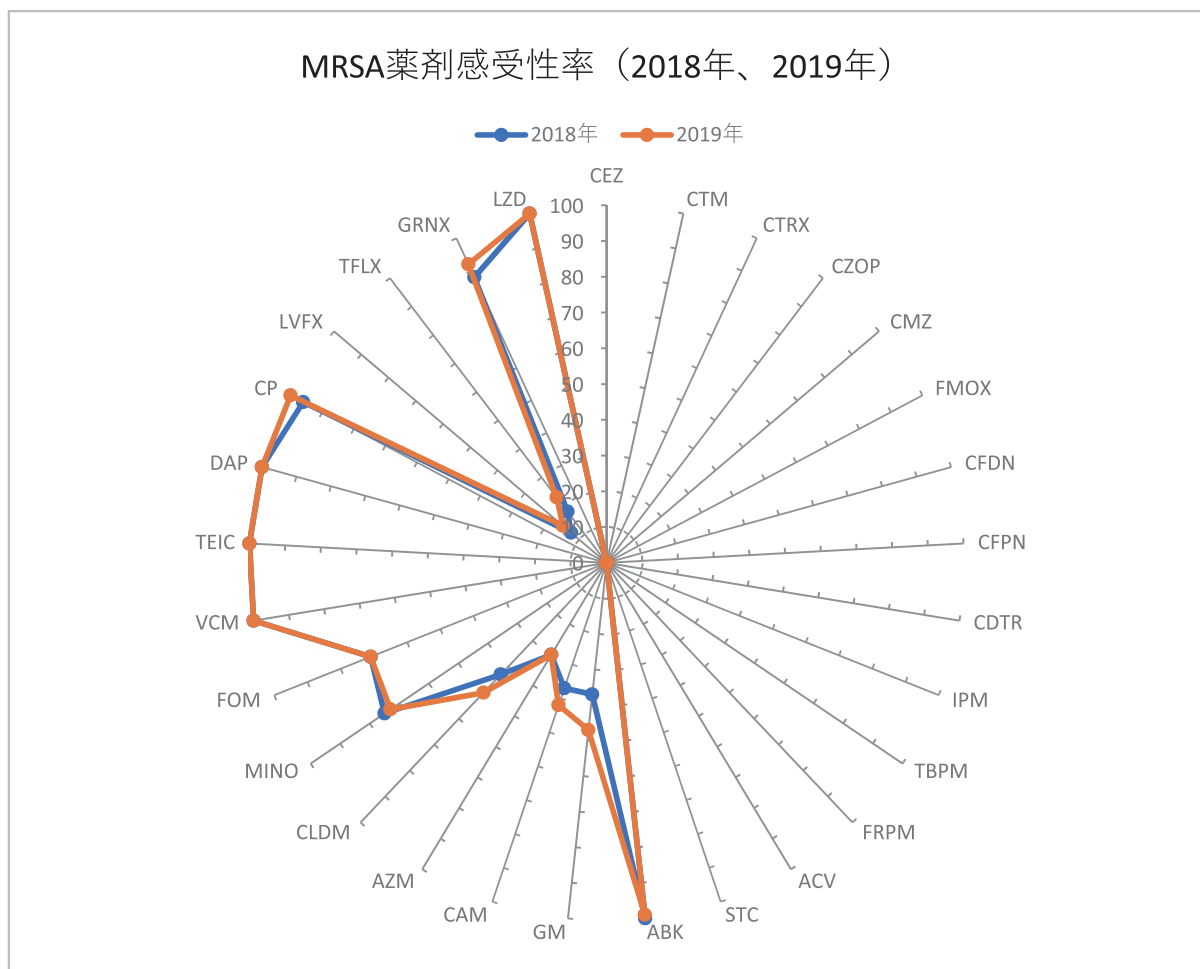
今回は、2018年3月分と2019年3月分のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の検出件数、薬剤感受性情報を掲載いたします。

【細菌検出状況】



上記のグラフは、当検査センターで2018年3月と2019年3月に検出されたメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の材料別検出件数を示しています。昨年の同月と比べ、大きな変化はありませんが、耳漏・眼脂・膿以外は全体的にやや増加傾向にあります。国内でメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）は、減少傾向にあるとされていますが、院内感染を引き起こす重要な原因菌ですので、引き続き感染予防を徹底することが必要となります。

【メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 薬剤感受性情報】



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) は染色体上に mecA という耐性遺伝子を持ち、βラクタム系薬剤に親和性が低下したペニシリン結合蛋白 (penicillin binding protein : PBP) PBP2' を産生し、βラクタム系薬剤の細胞壁合成阻害に抵抗を示します。

当検査センターで2018年3月と2019年3月にメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) に対して実施した薬剤感受性結果を比較すると、昨年の同月と大きな変化は見られませんでした。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況についての情報をご覧いただけます。

<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>
検査科微生物係